

世話万歳！ いい旅しろよ！

中

井から新井薬師までというのは妙正寺川にしばらく沿って後、別れてちよつと住宅街を歩く。概ね住宅街である。線路わきに公園があるが誰もいない。四月八日火曜日、平日である。入学式も終わってナウなヤングは学校に通うのである。静かだ。



↑今年のナガミヒナゲシ1号。今後、厭つちゅうほど咲く。

ナ ガミヒナゲシが好きである。筆者が子供のころにはこんな花なかつたのであるが、あれだけ鮮やかなオレンジをしておきながら日本の道端に馴染んでいるところが好きだ。毎年楽しみにしている。

――十分も歩くと新井薬師駅前商店街、という標識が見えるのだが、商店街というには店が少ない。しかしながら駅のホームは見えるのである。ホームがあるということ

ると、果たして踏切を経て南側に出ると焼鳥屋だ焼肉屋だと唐突に飲み屋街になる。正午過ぎ、閑散とした中にいるのは工事作業、作業服を着たあんちゃんばかり、埃っぽい

最中を駅の入り口まで歩くと、西武線特有のロータリー風広場（この言い回しが通用するのは東京人だけだろうか）の雑居ビル二階に樽平、確かにあった。時間的に半分くらい



の店でシャツターが閉まっているからどこから入るか分からないけど。この様子だと窓さえなさそうだけど。

今

度はちゃんと中に入ってみたいと思います。他人の金で。色々移転しての抱負とか聞いてみたいと思います。出来るかぎり他人の金で！

花も実もあったヨ

新

井薬師駅から徒歩五分以

上。あくまでも感覚的なもの

だけれども、中野駅から歩くのとそんなに距離は変わらな

花

まつりにかこつけてなん

然ほかにもあって、インドの子供に寄付金を送るチャリティ

ケル・寂聴とか厭な洒落だね

どーも。日蓮宗のお寺だったし。物色することしばし、奥からお坊さんが出てきた。サングラスに無精ひげだ。ここがお寺ぢやなかったら競艇場にいそうなタイプと云える。



天女のくせに肉感的でえろい。全部で四柱(?)いらっさる。

こ

ういう天女が伎楽やつてるみたいな絵が非常に気に入りました。値段を聞いた

ら二千円だというので買いました。あとで調べると孔柏基という人の版画であった。絵は気に入ったが裏面の「潜在意識を浄化し」とか「陽気なシールが気に入らねえ。絵なんかご利益を期待して飾るもんじゃないよ。でも絵は気に入ったのでシールはシンナー

文学フリマに出るヨ

第十八回文学フリマに出店します。書肆べう／フブキナ

を半分こして頑張ります。ツイッターの140字以内という字数を利用した「ツイッター小説祭」というミニイベントに参加することになりました。会場内でスタンプリリーとかがあるようです。

〔日時〕 5月5日(月・祝)

〔会場〕 東京流通センター

第二展示場

〔入場〕 無料

あと

会場で本当に微々たるサブライズがあるかもしれませんが。本当に微々たるものです。

バックナンバーはこちら

弊紙「アタリ」のバックナンバーはウェブサイト

<http://sbew.web.fc2.com/atan/>

からご覧いただけます。

といった次第で、今号は以上。